

シルバーあみ

第167号 令和3年1月21日発行

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 343名(12月31日現在)

男 249名 女 94名

安全就業スローガン

・チョットまで 作業の手順 手を抜くな!

・無災害 個々の意識が 実を結ぶ

年頭のご挨拶

理事長 千景 繁

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、コロナ禍にあっても恙なく新年をお迎えのことと存じます。昨年は新型コロナウイルス感染症により、阿見町シルバー人材センターの運営状況にも受注件数が減るといような影響を受けました。会員の皆様も就業時間の短縮や就業の一時停止といったことにより、就業意欲はあるものの感染に対しての恐怖もあり複雑な気持ちで過ごされたこととお察しいたします。

そのような中にあっても皆様には、細心の感染予防を払いながらいただいた仕事に対して誠実に取り組んでこられたことに感謝申し上げます。この状況がいつ収束するのかわかりかねますが、皆様には今後とも感染防止に努めていただき、それぞれの持ち場で最善の努力を重ねていただきますようお願い申し上げます。

さて、今年阿見町シルバー人材センターも設立30周年の記念の年を迎えることとなりました。そのための記念事業を考えておりますが、コロナの状況もあり推移を見守りながら慎重に進めてまいりたいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さらに、今年延期となったスポーツの祭典「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。是非とも成功するように国民の一人として応援し、選手の活躍を期待したいものです。

最後になりましたが、阿見町シルバー人材センターと会員の皆様の益々の発展と健康をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



「雪と紅梅」 撮影者 古森 貞紀 会員

丑年生まれの会員を代表して

84年目の年男です。80代は「自分ファースト」(五木寛之「百歳人生を生きるヒント」)全く同感で、かなり以前から実行していたような気がします。自分を大事にして自分のことは自分で対処するという、ごく当たり前のことが、老化と共に難しくなります。そこで私は考えました。「良く働き、良く食い飲み、良く眠ること」動く＝人生は面白い。でも今はコロナ禍で旅行、ゴルフ、飲み会など自粛せざるを得ないのが残念です。食べ物は好きなものから順番に、ただし腹八分にとどめること。酒は毎晩適量を、正に百薬の長です。そして夜は8時前に8時間以上眠ることにしています。元気や健康の原動力は何はともあれ、まずは動くことです。しかも好きなことをやりながら動く＝働くことの間を与えてくれた阿見町シルバー人材センター植木班に心から感謝しております。

豊田 護 会員

理事会

○令和2年11月16日(月)令和2年度第6回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 職員給与規程及び嘱託職員就業規則の改定について

○「人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望書」を阿見町に提出!

10月12日(月)、高野副理事長はじめ役員が町役場を訪問し、千葉繁町長、久保谷充町議会議長あての支援要望書(センター内に写しを掲示)を提出しました。この要望書は、茨城県シルバー人材センター連合会(県シ連)と連名で、国の政策に基づき地域社会に貢献すべく活動しているシルバー人材センターへの支援を要請しているもので、都道府県すべてのシルバー人材センターが全シ協の方針に基づいて一斉に要請活動を展開しております。



～県シ連主催の令和2年度女性役員による会員拡大検討会に参加して～

会員拡大検討会は、10月28日(水)阿見町総合保健福祉会館において、県南・県西10地域の女性役員等47名が参加し開催されました。

現在、わが国では65歳以上の高齢者人口が過去最高になり超高齢社会が進展している状況下、シルバー人材センターにおいて高齢者の活躍の場を広げることが重要な役割とな

っています。

しかし、県内のシルバー人材センターでは会員が減少しており、会員増加のため全国的に拡大の余地がある女性に注目し女性役員による会員拡大検討会となりました。

内容は次のとおりです。

1) 会員拡大の現況について

茨城県においては会員数、新規加入者（男・女）とも減少しており退会者が増加している状態である。

2) 分科会形式による意見交換会での検討

6つのグループに分かれ各地域の実態など活発な意見交換があった。

3) 検討内容について各班の発表

①女性会員を拡大するには

- ・まずはシルバー人材センターの存在を知ってもらう（チラシを作成し、市・町の広報紙とセットで配る）

- ・会員による勧誘（実態をよく知ることが可能）

- ・交流会やレクリエーションなどを行う（会員以外の参加も良しとする）

- ・女性限定の説明会を開催する

②退会者を減らすには

- ・魅力的な就業先の確保が重要

- ・退会の理由を知る（今後の参考にする）

この会議に参加し、他の地域の活発な活動を知ることができ有意義な時間を持つことができました。

会員の皆様、お近くにいらっしゃる60歳以上で働く意欲をお持ちの方をぜひお誘いください。素敵な仲間との出会い、そして報酬も得られ生きがいも生まれます。まさに「一石二鳥」ならず「一石三鳥」ではありませんか。多くの方の当シルバー人材センターへの加入をお待ちしております。

広報委員 住吉 京子



安全委員会

～自動車安全運転講習会～

11月6日(金)に茨城県自動車学校土浦校で、自動車安全運転講習会を実施しました。参加者は16名でした。最初に、県内の交通事故状況とシニアドライバーへの注意事項のお話を聞きました。全体の事故件数は減少しているが、高齢者の死亡事故が多発しており、特に自宅付近で16時～20時に発生している。急ぎ・焦りは禁物、しっかり停止線で止まり左右を確認、相手に譲る運転、車間距離を開けるなどの安全講義を頂いた後、教習車を使って指導員の指示で、自動車学校内のコースを走行しました。参加者それぞれに気づかされたことがあったようです。



最後の講評で、「蟻の穴から堤も崩れる」が如く、あ：甘え、か：過信、さ：雑、た：怠慢、な：慣れ、による事故を起こさないようにと戒められました。

中西 和紀 会員

～安全就業パトロール～

11月26日(木)阿見町総合保健福祉会館の屋内外作業で実施しました。就業現場の就業体制、作業内容、作業エリアの説明後、県シ連から5名と当センターの6名により屋外作業の落ち葉・ゴミの収集、所定集積場所への移動作業を次に館内のトイレ清掃の安全点検及び就業者へのヒヤリングを実施しました。

就業場所のパトロール点検結果について、屋内作業については館内清掃が大変きれいな作業がなされていたとの評価、屋外作業ではヘルメットの着用、手袋着用の2点の改善要望がありました。阿見町シルバー人材センターは今後とも『安全はすべてに優先する』を基本に会員の安全確保の徹底をさらに推進していきます。

安全委員長 松本 康雄



ボランティア委員会

この度、会員の皆様、お客様のご協力により使用済み切手約1000枚を阿見町社会福祉協議会へお渡しすることができました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

ボランティア委員長 大崎 忠



事業推進本部

～接遇マナー講習会～

12月21日(月)接遇マナー講習会を受講しました。講師は常陽産業研究所の鈴木菜穂先生。

接遇マナーはお客様との良好な人間関係を築くことになり、シルバー人材センターの信頼を得ることにもなるとのこと。

そして、より良いマナーで接すればお客様に良い印象を残し、あの人ならば安心して任せられる、またシルバーさんをお願いしようと思ってもらえるとのこと。そうなれば、うれしいし有難いことです。

では、その接遇マナーとは何でしょうか。ポイントはお客様に対して「ニコニコ」笑顔で「ハキハキ」答えて「感謝の心」で接すること。略して「N・H・K」。もちろん身だしなみを整えて。すでに分かっていることではありますが、改めて顧みなくてはならないと思った次第です。

竹野下 陽子 会員



事務局

- センターの紹介記事が、「広報あみ2月号通常版（令和3年1月22日発行）」に掲載されます。是非ご一読下さい。
- 配分金支払証明書**は、昨年1年間に就業して得た配分金に関するもので、確定申告に必要な書類です。該当する会員は確定申告を必ず行って下さい。（別紙参照）
- 賛助会員紹介します。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

	事業所名	住所		事業所名	住所
1	社会福祉法人 土浦愛隣会あゆみ保育園	阿見町阿見 4958-5	4	廣瀬産業(株)	阿見町中央 1-5-33
2	越後屋紙店	土浦市生田町 4-29	5	(株)白陽商会	土浦市木田余 4949-2
3	(株)広瀬誠商会	つくば市上岩崎 1675-17	6	(株)坂場商店	土浦市卸町 2-15-10

会員の広場 《ふるさと自慢》

年月の経つのは早いもので、故郷を離れてから55年。“道産子”（北海道生まれ育ちのこと）の私は今や“あみっぺに”なって30年。蝦夷から北海道に改名して152年位の歴史になります。火山、天然温泉、スキー場と雪質はパウダーと最高！起伏の激しい大雪山国立公園には蒸気のあがる火山の旭岳があり、又帯広には、世界で一つだけのばんえい競馬があります。ばんえい競馬とは体重1トン前後のばん馬達が最大1トンの重い鉄ソリを曳いて200メートルの直線コースで、力とスピードを競い合うものです。



私の生まれ育った場所は和寒町^{わっさむちょう}の山奥で自給自足の生活でした。父は開拓者です。馬、綿羊、ヤギ、ニワトリ、ウサギと動物に囲まれた幼少期です。今では和寒もテレビ番組や雑誌でも紹介されています。越冬キャベツはとても美味しく、雪の降る直前に収穫し、そのまま畑に置いて保存するというものです。

その後、少女期は旭川市に転居、市の中心を石狩川が流れ盆地なので夏は暑く冬はマイナス20℃前後の気温になります。移り住んだ土地は先住民のアイヌ人と和人の入り混じった地域でしたので近隣にはアイヌの首長さんの家、熊の木彫りをしている方々、女性は民族模様のゴザ織り、ツルの舞の踊り練習、時にはかがり火を焚いてのイヨマンテ（熊祭り）など、このような光景は帰省しても目にすることも無くなり本当に懐かしい思い出です。お土産売り場からは民芸品も少なくなり本当に残念です。時代、社会の変化をしみじみ感じます。先住民のアイヌ文化、歴史を大切にしていかななくてはと思う日々です。



●新しい会員の紹介（令和2年10月1日～12月31日）10名					
会員番号	氏名	行政区	会員番号	氏名	行政区
1590	返田 俊雄	一区南	1595	市川 みね子	上 長
1591	木下 定雄	二区北	1596	眞島 富美子	上本郷
1592	谷口 範子	三区上	1597	中村 京子	三区上
1593	輪島 清子	中郷東	1598	三好 欣也	鈴 木
1594	坂田 節子	上 長	1599	山口 修	南平台3

一口メモ

新しい仕事への思い

昨年の春から新型コロナウイルス感染拡大によって、生活様式が一変しました。そんな中、8月から私は企業（井関農機㈱茨城センター）の受付業務の仕事をするようになりました。井関農機㈱茨城センターは、かつては霞ヶ浦海軍航空隊があった所です。構内には格納庫として使用されていた建物が現存しています。また、昭和天皇行幸記念碑もあり、桜の樹も沢山あって春には花見にも絶好の場所です。今でもマスコミや一般の見学者が年間300人以上はあるそうです。

私たち受付業務のメンバーは5人です。一日2人体制で午前は7:30～11:30迄、午後は12:30～16:30迄の勤務です。仕事中に郵便物を各部署に配りながら屋外の見回りをします。最初の日には上司がついて教えてくれました。暑い中歩いている時に倉庫の中からフォークリフトが出てくる所のシャッターの止め金具が上を向いているのを、上司が素早く見つけすぐに下げていました。こういう事にも注意を払わないと小さなことから大きな事故に繋がるのだと思い、改めて見回りの仕事の大切さを感じました。どんな仕事も大事な仕事であり、誇りと自信を持てるようになりたいです。一生懸命努力して一人前の受付業務ができるようになりたいと思います。

広報委員 西村 和子

広報委員長より[年男・年女のご紹介]

昨今、日常生活では干支に係る事はあまりありませんが、年男・年女として新年を迎えるに辺り相応しいテーマと想起した次第です。今年の年男・年女は丑年生まれの人で「努力家でマイペース且つ温厚な性格で頭の回転は良い向きが多い」との事。

当シルバー人材センターでは84歳と72歳の会員となりますが、35名の方が該当し、内訳は84歳が4名（男性のみ）、72歳が31名で年男25名、年女10名となり、他の干支に比べ今年が多いようです。年男・年女の人には縁起が良い年であり、人生の一つの区切りとも言えますので、年男の豊田 護さんにその思いをお願い致しました。また、新型コロナウイルス禍を吹き飛ばす程の元気を年男・年女の皆様に発揮頂けますよう（今風の流行言葉で申せば）エールを送りたいと存じます。

広報委員長 松本幸雄

